

世界の都市めぐり

フィジー諸島共和国

日本から直行便で約8時間、大小300以上の島が点在する南緯18度の世界が広がる

フィジー諸島共和国は、日本から南へ約7,000km、南太平洋のほぼ中央部に位置し、大小約300の島々からなる共和国である。面積は約18,000km²、日本の四国とほぼ同じ大きさである。人口は約81万人で、フィジー系が51%、インド系が44%、その他が5%を占める構成となっている。1970年に英国から独立し、1987年から共和制へ移行している。

フィジーは、その地理的な理由のみならず、南太平洋の民族や文化が交差する島々として「南太平洋の十字路」と呼ばれてきている。

輝く太陽とどこまでも青い海、美しい自然があふれる常夏の国である。



The Republic of Fiji Islands



↑国会議事堂。上院、下院からなる2院制となっており、任期は5年とされている

↓ビチレブ島にある首都スバの街角。南太平洋随一の港町としても知られる



↑ヒンズー教寺院。各宗教の全人口に占める割合は、キリスト教52.9%、ヒンズー教38.2%、イスラム教7.8%である



↑大統領府兼官邸。2001年3月にラトウ・ジョセファ・イロイロ大統領が就任した



↑ラグビーは、国技に相当する人気スポーツであり、多くの優れた選手を輩出している。2003年はラグビーの世界カップ開催の年であり、フィジーは決勝リーグ進出を目指し、日本とは同じ予選リーグで顔を合わせることになる

↓ダイビングをはじめとするマリンスポーツは、フィジー観光の目玉である



↑ゴルフもフィジーの観光資源の一つ。ちなみに1998年マスターズ、2000年全米プロチャンピオンとなったビージェイ・シン選手はフィジー出身である



↑英国のエリザベス女王訪問。フィジー諸島共和国は、英国連邦54カ国のうちの一つである



↑メケといわれるフィジーの伝統的な芸能。男性は戦いの様子を表現した勇ましい歌と踊りを、女性は伝統的な布タバクロスや鳥の羽を身に着けて、日常の生活を表現した優雅な歌と踊りを披露する



↑トロピカルな魚



↑ラム工場の様子。砂糖産業は観光・衣料と並ぶフィジーの三大産業の一つである



↑今では珍しくなった伝統的な茅葺屋根の集落。現在ではとたん葺きが主流

写真・資料提供：フィジー政府観光局